

時間割コード	G1D11710	開講年度	2026				
授業題目	クリティカル・リーディング（中級）					担当教員	森木 順子
英文授業名	Critical Reading						
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・2時限	対象学生	M（保）《3》
講義室	共通教育55講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	Critical Reading では、専門課程での学術探究に寄与するAcademic Skills（Critical Reading & Critical Thinking）の向上を目指し、多様な内容・スタイルのアカデミックな英語をクリティカルに読み、自分の意見や考えを批評的に述べる力を育成する。 様々なジャンルの英文（雑誌・新聞、文学作品、映像作品のスク립ト、討論、講義、講演等）の内容や意図を正確に把握し、分析・解釈・評価等を行うことにより、アカデミックな英文をクリティカルに読み解く姿勢を身につけていく。その際、クリティカルな読解力・思考力の育成に配慮した教材を用いて、分析、解釈、評価などのスキルが身につくよう工夫する。 （Critical Readingとは、単に文章を訳し理解する受動的な読解のことではなく、より積極的に文章の内容や意図を吟味し、分析・解釈・評価する読解のことを意味する。）						
(5)授業のキーワード	Critical Reading Critical Thinking						
(6)授業計画	第1回 ガイダンス、Lesson 1 What is Critical Thinking? 第2回 Lesson 1 What is Critical Thinking? 第3回 Lesson 2 Write Your Problems on a Note Pad 第4回 Lesson 3 Media Literacy: Don't Believe Everything the Media Say! 第5回 Lesson 4 The Spirit of Wa (Harmony) 第6回 Lesson 5 Xenophobia 第7回 Lesson 6 Yelephne Message Game 第8回 中間テスト・Lesson 7 Analyze Your Pattern of Thinking 第9回 Lesson 8 The Difference between Fact and Opinion 第10回 Lesson 9 The Pitfalls of the English Language 第11回 Lesson 10 What is Your Blood Type? 第12回 Lesson 11 Gender Bias 第13回 Session 4 Japanese Stories in Translation: Kenji and Ryunosuke 第14回 Session 4 Japanese Stories in Translation: Kenji and Ryunosuke、Session 3 Pygmalion 第15回 Session 3 Pygmalion 第16回 期末テスト・授業アンケート						
(7)成績評価の方法	・ 授業期間中の習熟度を測る課題（50%）：課題(15%)、中間テスト＆単語テスト(20%)、グループワークなど(15%) ・ 期末テスト(50%)						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・ この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・ 予習、復習に関してはその都度、授業の中で伝えます。						
(10)履修上の注意	・ 授業への積極的な参加と定期的に出される課題への意欲的な取り組みが必要です。授業中に伝えた予習、復習は必ず行って授業に臨んで下さい。また、授業外の時間になるべく多く英語に触れる機会を作るようにして下さい。1例として、英語音声の映画を見ることをおすすめします。また、教科書を使っでの復習ですが、ぜひ音読をしてみてください。教科書の音声はeALPSに載せておきますので、音声に合わせたのオーバーラッピングをおすすめします。＊自主学習システム：Reallyenglishをぜひ活用して下さい。 ・ 授業が始まって30分までを遅刻とします。また、遅刻3回で欠席1回になりますので、気を付けて下さい。 ・ グループごとに問題を解いてもらいますので、授業中にメンバーとコミュニケーションをとる必要があります。 ・ 英文で分からない箇所がある場合にすぐに参照できる辞書などがあると良いでしょう。						
(11)質問、相談への対応	月・火・水・金の空き時間、またはメールにて対応します。 メール・アドレス：jforest@shinshu-u.ac.jp						

(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	・ An Invitation to Critical Thinking クリティカル・シンキングのすすめ—基礎から応用への総合英語— 南雲堂 ISBN978-4-523-17821-7 ・ 文学で学ぶ英語リーディング English Through Literature 研究社 ISBN978-4-327-42185-4
【参考書】	英和辞書等を必要に応じて使用して下さい。